

## 2024年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年3月1日

上場会社名 株式会社 アインホールディングス 上場取引所 東 札  
 コード番号 9627 URL <https://www.ainj.co.jp/corporate/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 水島 利英 TEL 011-814-1000  
 四半期報告書提出予定日 2024年3月15日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（四半期決算補足資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。）  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年4月期第3四半期の連結業績（2023年5月1日～2024年1月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第3四半期	296,360	12.3	22,187	17.5	14,305	22.4	15,050	21.7	8,730	31.7
2023年4月期第3四半期	263,906	12.5	18,877	13.5	11,685	14.4	12,367	14.5	6,628	6.4

（注）包括利益 2024年4月期第3四半期 8,828百万円（32.9％） 2023年4月期第3四半期 6,643百万円（6.7％）

（注）EBITDA=（営業利益+減価償却費+のれん償却費）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第3四半期	248.51	—
2023年4月期第3四半期	188.70	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第3四半期	243,688	133,278	54.7
2023年4月期	231,750	126,546	54.6

（参考）自己資本 2024年4月期第3四半期 133,206百万円 2023年4月期 126,449百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2024年4月期	—	0.00	—		
2024年4月期（予想）				60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年4月期の連結業績予想（2023年5月1日～2024年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	390,263	8.8	29,000	12.2	18,450	15.3	19,340	13.3	10,000	8.3	284.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付書類8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年4月期3Q	35,428,212株	2023年4月期	35,428,212株
② 期末自己株式数	2024年4月期3Q	295,764株	2023年4月期	298,188株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年4月期3Q	35,131,383株	2023年4月期3Q	35,128,813株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(表示方法の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年5月1日～2024年1月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行したこと、また行動制限が緩和したこと等により、人流の回復がみられる等、緩やかな持ち直しがみられます。一方で、物価上昇、金融資本市場の変動等により未だ不透明な状況が続いております。

2024年1月に発生した令和6年能登半島地震においては、従業員の人的被害はありませんでしたが、北陸3県及び新潟県の29店舗において医薬品・商品の落下や建物の損傷・損壊の被害を受けました。これにより、薬局2店舗が臨時休業を余儀なくされましたが、被災地域における医療提供の早期再開に尽力し、現在は営業を再開しております。また、被災地の1日も早い復旧・復興のため、支援金の拠出を決定いたしました。なお、この地震による業績への影響は軽微であります。

当社グループは、マテリアリティ「地域医療への貢献」「美しさとすこやかさの提供」を使命とし、医療・小売サービスの提供に努めております。また、ダイバーシティ&インクルージョンをマテリアリティ「健全な経営基盤」における重要な取り組みの一つとしてとらえており、働きやすい環境整備と働きがいのある組織づくり等、多様性の推進に積極的に取り組む中、仕事と子育ての両立を支援する「子育てサポート企業」として評価され、2023年7月に中核事業会社である株式会社アインファーマシーズが厚生労働大臣より「プラチナくるみん認定」を受けました。

2022年10月には、「CSR調達方針・ガイドライン」を制定しており、2023年7月にサプライチェーン全体でCSR調達を実践することを目的としてお取引先さま向け説明会を実施、翌月8月に現状把握のためのCSRアンケートを実施いたしました。この取り組みを通じてサプライチェーンリスクの評価と分析を行い、CSRを遵守していただくようコミュニケーションを図ることで、お取引先さまとのCSR協業体制の強化に取り組んでまいります。

2024年2月には、環境情報開示のための世界最大のデータベースを有する国際的環境NGOである「CDP」による、「気候変動」に対する取り組みや情報開示の評価において「B」スコアを取得いたしました。今後も、マテリアリティ「環境保護・負荷軽減」で掲げているとおり、事業活動にかかわる地球環境の持続可能性を追求し、環境保護に努め、環境負荷の最小化への取り組みを継続してまいります。

当社グループは、事業による様々な社会課題の解決への貢献を通じて、ステークホルダーの皆さまに「この街にアインがあって良かった」と感じていただける企業を目指します。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、次のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	263,906	296,360	32,454	12.3
営業利益	11,685	14,305	2,620	22.4
経常利益	12,367	15,050	2,682	21.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,628	8,730	2,101	31.7

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	
ファーマシー 事業	売上高	236,396	265,019	28,623	12.1
	セグメント利益	18,023	19,713	1,689	9.4
リテール事業	売上高	18,836	22,905	4,068	21.6
	セグメント利益	737	2,246	1,509	204.7
その他事業	売上高	8,716	8,472	△243	△2.8
	セグメント利益 又は損失(△)	△2	△80	△78	—

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

## (ファーマシー事業)

当社グループでは、医療機関等との連携、お薬手帳等を活用した服薬情報の一元的・継続的な把握、在宅医療対応等により、患者さまが住み慣れた地域で安心して医療を受けることができるよう、「かかりつけ薬剤師・薬局」の機能発揮に取り組んでおります。

また、患者さまの利便性向上のためのDX推進にも積極的に取り組んでおり、2022年より提供しているアイン薬局公式アプリに加え、2023年10月にはアイン薬局LINE公式アカウントを開設し、処方箋送信サービスをより手軽に利用いただけるようになりました。

当第3四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症治療薬を含めた高額医薬品処方への対応が増加傾向にあることで処方箋単価が上昇するとともに、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症へ移行したことによる外来受診抑制の緩和に加え、かかりつけ薬剤師・薬局としての機能強化や待ち時間短縮等の患者さまサービス向上により処方箋枚数についても増加しております。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計25店舗を出店し、11店舗を閉店、2店舗を事業譲渡したことで、当社グループにおける薬局総数は1,221店舗となりました。

## (リテール事業)

コスメ&ドラッグストア事業については、国内外の人流の回復により客数が堅調に推移するとともに、顧客の購買傾向が感染対策商品から当社の強みであるコスメ関連商品等へ変化していることで単価が上昇しております。中でも、当社が注力しているアジアンコスメの売上が伸長しており、今後も購買動向を注視し、商品力の強化や魅力的な売り場づくりを行ってまいります。

同期間の出店状況は、5店舗を出店、2店舗を閉店したことで、コスメ&ドラッグストア総数は81店舗となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より119億3千7百万円増の2,436億8千8百万円となりました。主な要因は、新型コロナウイルス感染症治療薬等による商品の増加並びに新規出店による建物及び構築物の増加によるものであります。

負債の残高は、52億5百万円増の1,104億9百万円となりました。主な要因は、買掛金が増加したことによるものであります。

短期及び長期借入金の残高は、31億4千1百万円減となる55億4千9百万円となりました。主な要因は、借入金の返済によるものであります。

純資産の残高は、67億3千2百万円増の1,332億7千8百万円となり、自己資本比率は0.1ポイント増加となる54.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月6日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,796	50,057
売掛金	13,249	14,007
商品	21,299	26,807
貯蔵品	286	286
短期貸付金	355	143
未収入金	11,969	11,519
その他	4,348	4,016
貸倒引当金	—	△1
流動資産合計	98,305	106,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,407	27,010
土地	10,602	10,116
その他(純額)	7,449	5,619
有形固定資産合計	39,459	42,745
無形固定資産		
のれん	46,443	43,947
その他	5,900	6,716
無形固定資産合計	52,343	50,664
投資その他の資産		
投資有価証券	2,720	3,427
繰延税金資産	5,990	6,287
敷金及び保証金	24,507	24,713
その他	8,735	9,389
貸倒引当金	△312	△377
投資その他の資産合計	41,641	43,440
固定資産合計	133,444	136,850
資産合計	231,750	243,688

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,698	67,987
短期借入金	3,670	3,183
未払法人税等	3,328	3,144
預り金	18,232	19,772
賞与引当金	3,215	1,560
役員賞与引当金	22	10
契約負債	532	450
その他	5,284	4,739
流動負債合計	92,986	100,847
固定負債		
長期借入金	5,021	2,366
退職給付に係る負債	4,498	4,815
その他	2,697	2,378
固定負債合計	12,218	9,561
負債合計	105,204	110,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,894	21,894
資本剰余金	20,504	20,499
利益剰余金	85,963	92,586
自己株式	△2,000	△1,983
株主資本合計	126,362	132,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	137
退職給付に係る調整累計額	95	72
その他の包括利益累計額合計	87	209
非支配株主持分	96	71
純資産合計	126,546	133,278
負債純資産合計	231,750	243,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
売上高	263,906	296,360
売上原価	224,213	253,147
売上総利益	39,692	43,213
販売費及び一般管理費	28,006	28,907
営業利益	11,685	14,305
営業外収益		
受取利息	36	31
受取配当金	62	41
受取手数料	12	9
不動産賃貸料	151	220
業務受託料	165	199
補助金収入	169	227
その他	367	348
営業外収益合計	965	1,077
営業外費用		
支払利息	40	26
債権売却損	75	86
不動産賃貸費用	92	75
貸倒引当金繰入額	30	96
その他	45	48
営業外費用合計	283	332
経常利益	12,367	15,050
特別利益		
固定資産売却益	2	417
事業譲渡益	73	7
保険解約返戻金	35	11
その他	1	4
特別利益合計	113	439
特別損失		
固定資産除売却損	153	133
減損損失	183	219
その他	36	106
特別損失合計	372	459
税金等調整前四半期純利益	12,108	15,031
法人税等	5,497	6,325
四半期純利益	6,611	8,705
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,628	8,730



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	6,611	8,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	145
退職給付に係る調整額	18	△22
その他の包括利益合計	32	122
四半期包括利益	6,643	8,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,661	8,852
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	△24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「貸倒引当金繰入額」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた75百万円は、「貸倒引当金繰入額」30百万円、「その他」45百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年5月1日至2023年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー 事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	236,396	18,836	8,672	263,906	—	263,906
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	43	43	△43	—
計	236,396	18,836	8,716	263,949	△43	263,906
セグメント利益又は損失(△)	18,023	737	△2	18,758	△6,390	12,367

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,390百万円には、全社費用が7,269百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△916百万円、セグメント間取引消去が37百万円含まれております。

なお、全社費用は、報告セグメント外の管理部門及びシステム物流部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「ファーマシー事業」セグメントにおいて、当社が株式会社ファーマシィホールディングスの全株式を取得したことに伴い第1四半期連結会計期間より、同社及びその子会社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において13,026百万円であります。

なお、同社は2022年12月1日に同社の完全子会社である株式会社ファーマシィ(広島県福山市)を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

また、第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、当第3四半期連結会計期間において確定しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年5月1日至2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー 事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	265,019	22,905	8,435	296,360	—	296,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	37	37	△37	—
計	265,019	22,905	8,472	296,397	△37	296,360
セグメント利益又は損失(△)	19,713	2,246	△80	21,879	△6,829	15,050

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,829百万円には、全社費用が7,673百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△812百万円、セグメント間取引消去が△31百万円含まれております。

なお、全社費用は、報告セグメント外の管理部門及びシステム物流部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。